

第4回 明石港東外港地区再開発計画検討委員会 議事要旨

1. 開催日時 平成29年8月16日(金) 15:00

2. 開催場所 アスパア明石北館8階 801会議室

3. 出席者(敬称略、50音順)

雨宮 功(兵庫県県土整備部土木局港湾課長)
伊藤 一(中崎まちづくりの会 会長)
岩崎 日出夫(兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所長)
大橋 健一(明石工業高等専門学校 名誉教授)
檜原 一法((一社)明石観光協会 専務理事)
酒井 貴司(近畿地方整備局港湾空港部 計画企画官)
田端 和彦(兵庫大学 副学長)
西海 正隆(明石商工会議所 副会頭)
橋本 浩司(明石市連合まちづくり協議会 顧問)
橋本 幹也(明石市漁業組合連合会 会長)
福田 成男(明石市理事(技術担当))
宮脇 俊夫(明石市政策局長)

4. 議事

- 1) 第3回委員会における主なご意見と対応
- 2) 委員会の検討経過と今後の予定
- 3) 再開発計画(素案)について

5. 主な質問・意見

質問

質問	回答
人を生かす・育てる・個人の能力を高めることを目指し、人材の育成につながる発表の舞台などとして利用できれば、将来に夢が持てるのではないかと。	人づくりというところは、重要であると考えており、地域の参画の方向性については、今後も継続して協議・調整したいと考えています。
大蔵海岸で今とは異なる開発がなされるのであれば、それも踏まえて計画地を再開発すべきかと。	大蔵海岸の開発や、明石市庁舎の建替えという開発要素はありますが、当委員会では現状を元に検討します。
公募に先立つ事業者へのヒアリングは、対象者を広く募り実施すること。そうすることで、計画の妥当性についても見えてくるかと。	幅広い事業者から意見が聞けるよう、広報等を工夫しながら実施します。

意見

<施設に関して>

- 人を集めるため、観光バスなどの駐車場を確保すべき。
- 計画地の入り口にはシンボリックなウエルカムゲートを設置して欲しい。
- 明石海峡や家島方面へのクルージングを誘致することは賛成である。
- 仲卸組合から「計画地に水産物分場程度の市場は欲しい」と意見がでている。
- 計画地だけの「点」ではなく、市役所～大蔵海岸への「線」のつながりができるよう、施設整備などを行って欲しい。

<検討・配慮事項に関して>

- 市民開放される海岸線は、マンション住民に独占されてしまわないよう、一般市民も気軽に利用できるような開発にすべき。
- マンション建設により背後地から海峡が見えなくなるのは問題。ある程度の高さ規制や景観への配慮も必要である。
- 施設整備には明石らしい子育て世代や高齢者、障害者に配慮することも重要である。
- 狭い計画地であり、機能の詰め込みすぎは良くない。持続可能な計画として、少しゆとりや空地を残すことも重要である。
- 需要や要請の変化に対応し、持続的発展ができるよう、計画には用途を切り換えられるような柔軟性が必要。
- 大型観光バスの駐車場確保については、本来、明石市の総合計画やマスタープランで検討がなされるべき。
- 明石は大阪まで比較的近い。大阪のホテル不足を考えると、宿泊機能は大きな価値があると考える。

<その他>

- パブリックコメント実施にあたり、十分に周知する必要がある。

以上